

/42

8点	8点	8点	4点	2点
問六	問五	問四	問三	問二
<p>日本語を学ぶという目標をしっかりと持ち、そのために一生懸命努力するトレスの姿。</p>		<p>真の言葉を深く考えて理解しようとし、まじめに自分の意見を述べようという気持ち。</p>	<p>真実</p>	<p>やくそく</p>
		<p>大学で自分が勉強したことが、大学を卒業して社会に出ても、実際には生かせないのではないかと悩んでいる。</p>	<p>エ</p>	<p>いけいえい</p>
			<p>問二は「本当」「事実」「正答」「正解」等も可</p>	<p>まどぐち</p>
				<p>ひょうし</p>
				<p>ひろ</p>

/100

受験番号

小学校名

小学校 氏名

/58

4点	6点	6点	6点	8点	6点	4点	4点	2点
問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
<p>死を乗り越えた死より大事な価値というものがあつて、人間</p>	<p>死を自然現象として捉え、自然で美しいものと思う傾向の考え方。</p>	<p>日本人が経験的に確かめられたものである以前に、みんなてそうだと 思いこむ世界のあり方。</p>	<p>誰もが死ぬという前提で考えるのではなく、逆にみんな死なない という前提によってなされた運動として理解できるといふこと。</p>	<p>死とは人間の意志、判断、理解にかかわらず、あらかじめ決められているゲームの ルールのようなものであり、人間は死を想定し、前提にして生活をしているから。</p>	<p>人間は自分が経験したことを手がかりにして何かを理解できるが、 自分の死は経験できないため、それがどのようなものであるかと 知るのとは不可能だから。</p>	<p>なぜ不可解なのか</p>	<p>これ</p>	<p>絶対</p>
								疑
								裁
								状態
								忠実

問七 別解 私たちが歴史的事実として知っている、または、この世の中に現実として存在している多様な死生観と死に関する知識を持った世界のあり方。